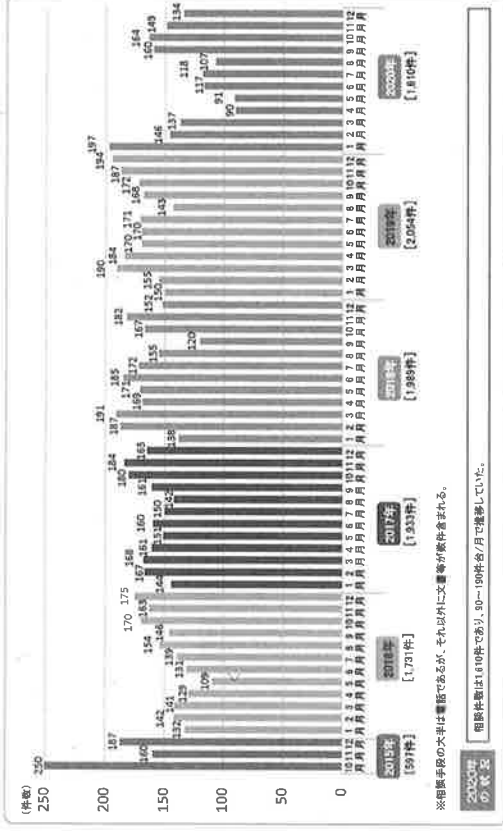


## 相談の状況

### 1. 相談件数の推移 (数値版 1-(1)-①参照)

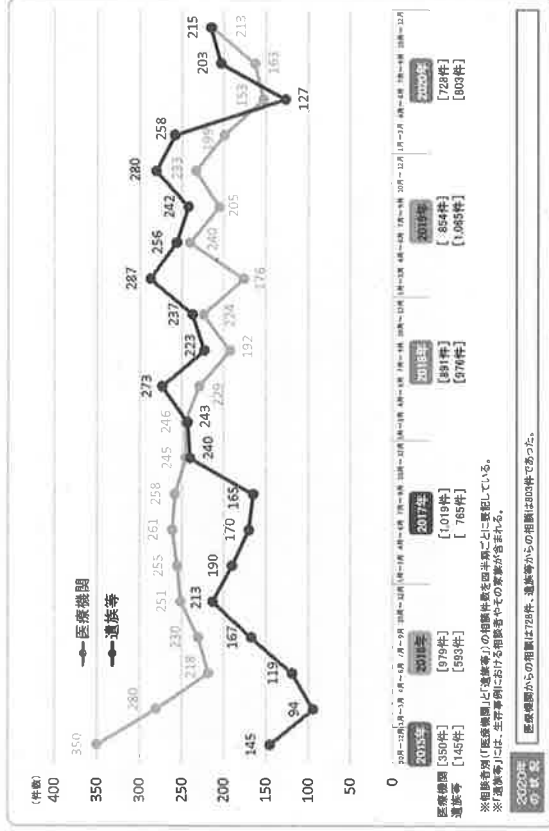


## II 相談・医療事故報告等の現況

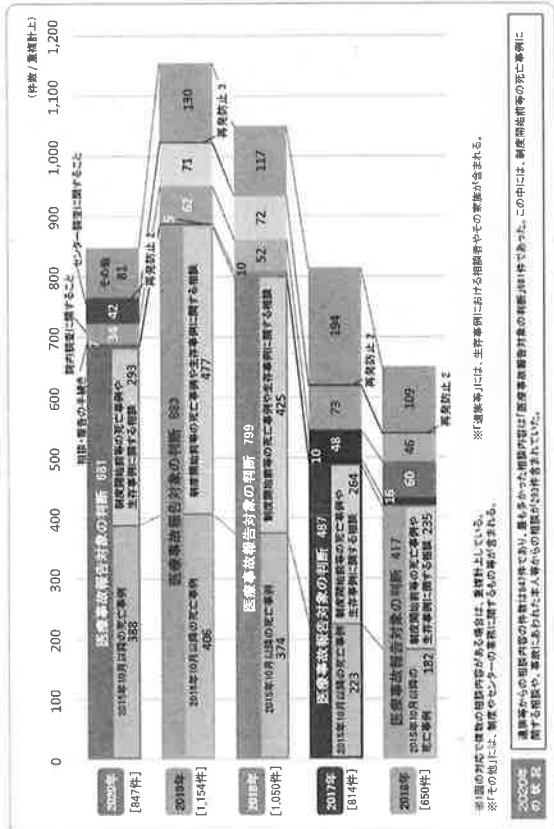
### 要約版 (2020年)

本要約版は、集計結果の中から主要項目を抽出し、報告件数等について2020年1月1日～同年12月31日までの状況を、制度開始からの推移あるいは前年比等によりまとめている。一部のグラフは、2015年10月～12月のデータを省略している。

### 2. 相談者別(「医療機関」と「遺族等」)相談件数の推移 (数値版 1-(1)-②参照)

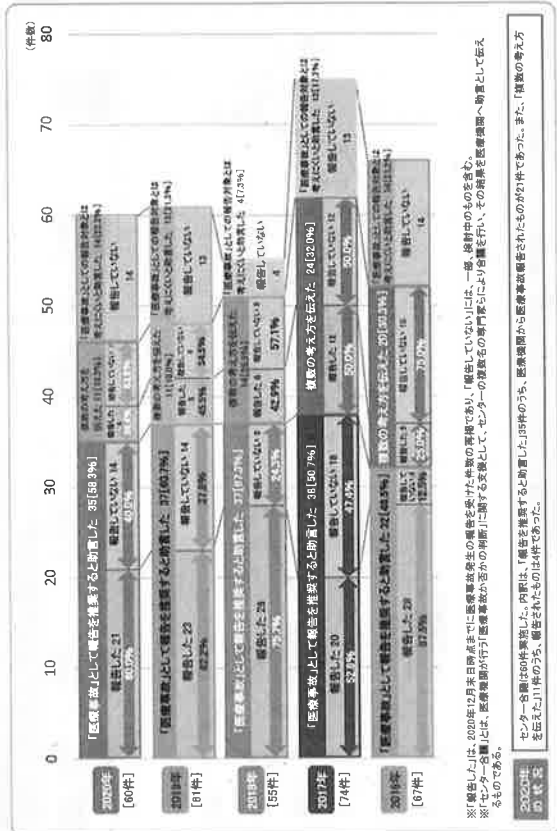


3. 遺族等の相談内容 (数値版 1-(1)-④参照)



※2020年の相談件数は、前年比で増加しています。これは、医療事故報告対象の判断に関する相談が増加していることによるものと見られます。

5. センター合議における助言内容および医療機関の判断 (数値版 1-(2)-④参照)



※2020年の相談件数は、前年比で減少しています。これは、センターの助言に従った件数が増加していることによるものと見られます。

II 相談 医療事故報告等の現況 要約版

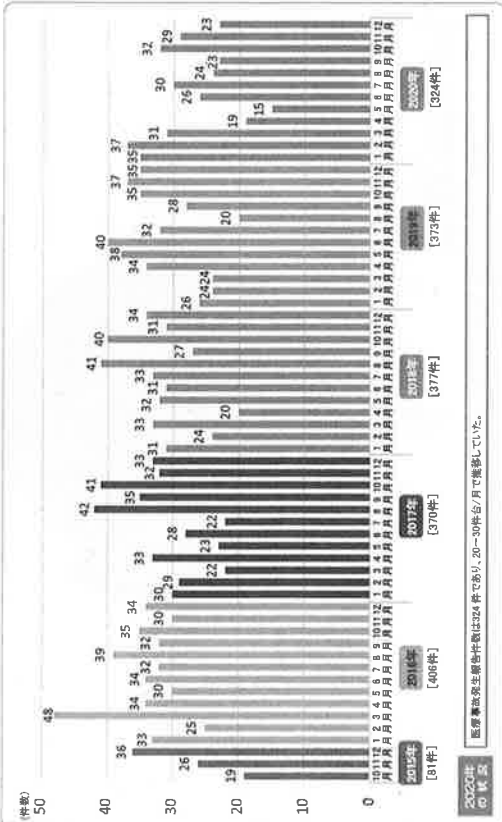
4. 遺族等からの求めに応じた医療機関へ伝達した件数 (数値版 1-(1)-⑤参照)

医療機関	年次				累計
	2020年 (1-12月)	2019年 (1-12月)	2018年 (1-12月)	2017年 (1-12月)	
病院	23	24	38	19	116
診療所	0	1	1	2	6
助産所	0	0	0	0	0
合計	23	25	39	21	122

※2020年の相談件数は、前年比で減少しています。これは、医療機関への伝達件数が増加していることによるものと見られます。

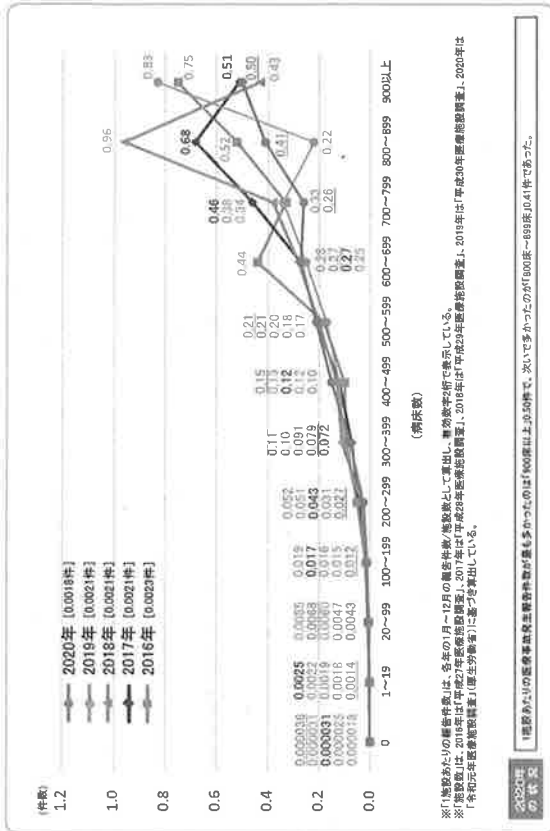
## 医療事故発生報告の状況

### 6. 医療事故発生報告件数の推移 (数値版 2-(1)-①参照)

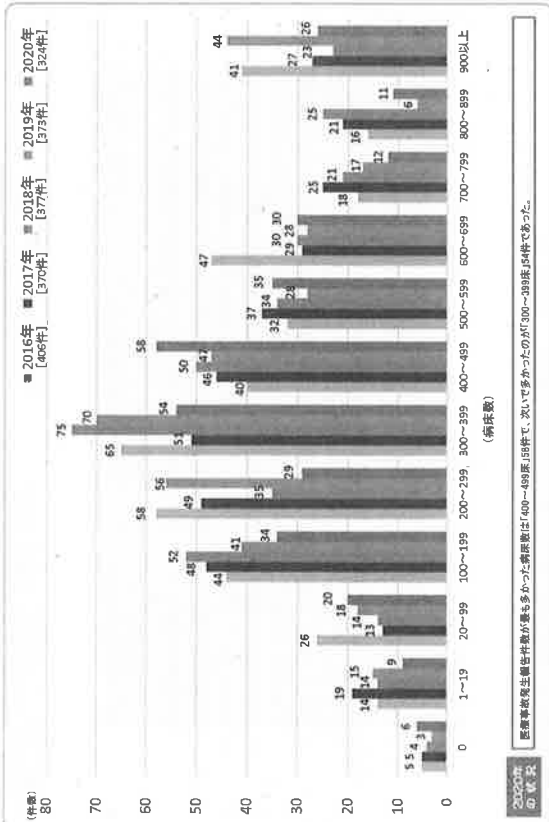


要約版  
II 相談・医療事故発生等の状況

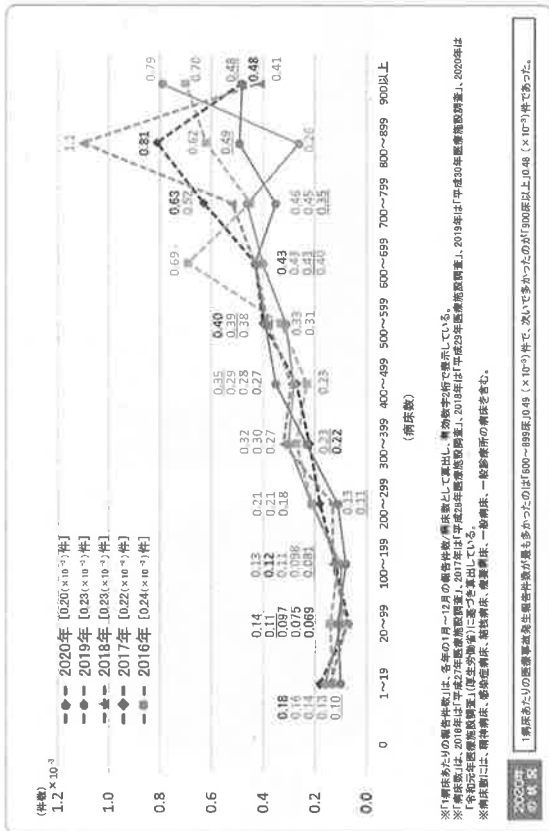
### 8. 病床規模別1施設あたりの医療事故発生報告件数 (数値版 2-(1)-⑤参照)



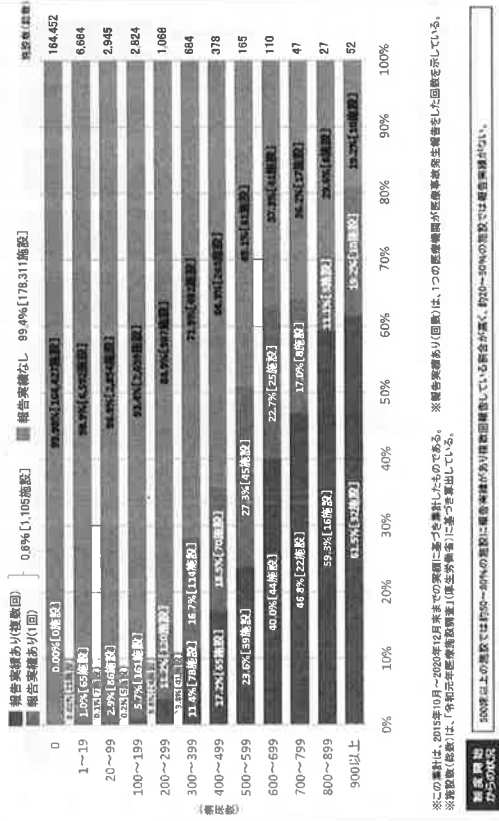
### 7. 病床規模別医療事故発生報告件数 (数値版 2-(1)-⑤参照)



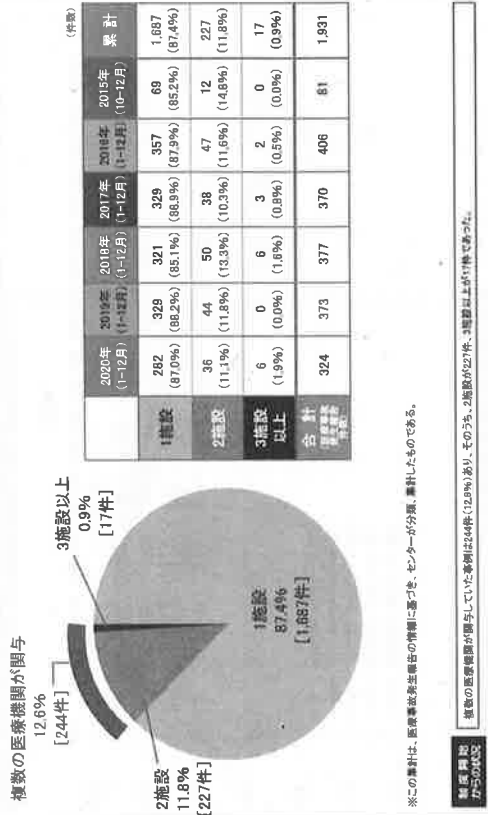
### 9. 病床規模別1病床あたりの医療事故発生報告件数 (数値版 2-(1)-⑤参照)



### 10. 病床規模別医療事故発生報告実績の割合 (数値版 参考2-(1)-⑤参照)

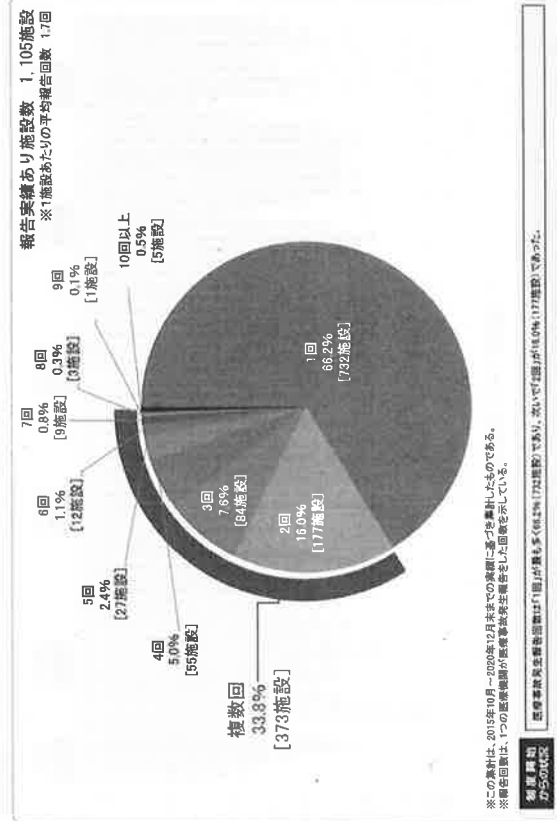


### 12. 1事例に関与した医療機関数(数値版 2-(1)-⑤参照)

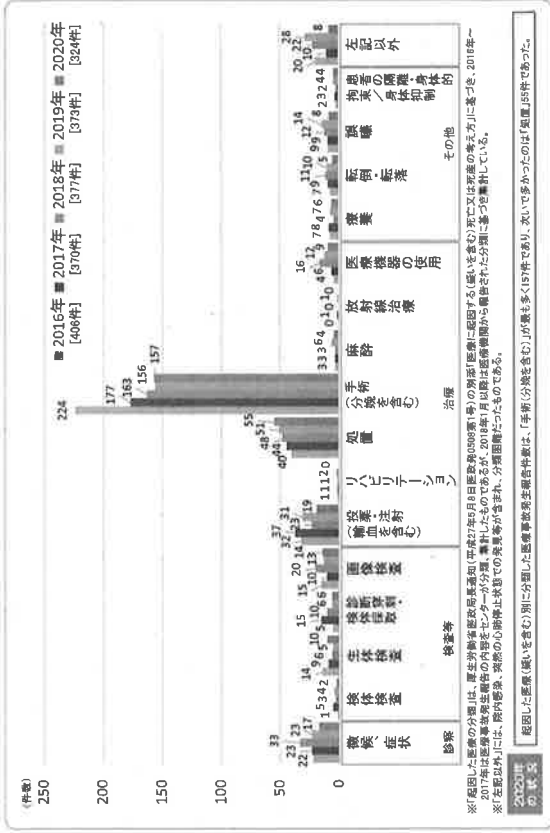


II 相談・医療事故報告等の現況  
 要約版

### 11. 医療事故発生報告施設における報告回数(数値版 参考2-(1)-⑤参照)

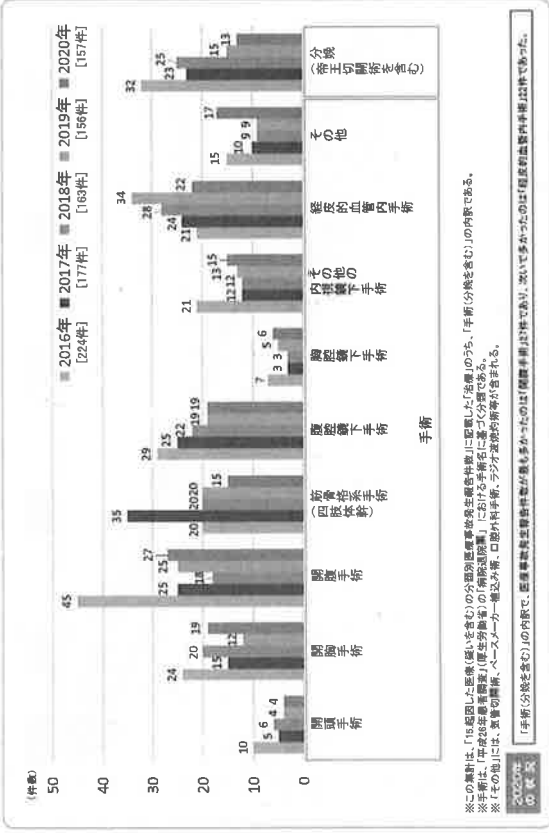


15. 起因した医療(疑いを含む)の分類別医療事故発生報告件数(数値版2-(3)-①参照)



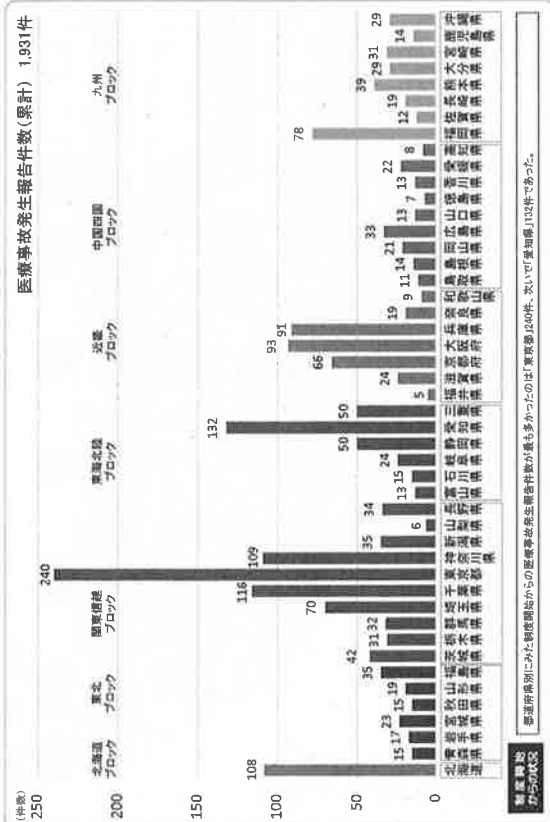
2020年の状況  
 ※「起因した医療(疑いを含む)」別に分類した医療事故発生報告件数は、「手術(分岐を含む)」が最も多く(157件)であり、次いで多かったのは「処置」が24件であった。  
 ※2017年は医療事故発生報告の内訳をセンターが分類・集計したものであるが、2018年1月以降は医療機関から報告された分類に基づき集計している。  
 ※左記以外には、院内感染、突然の心停止状態で発見された患者が報告され、分類困難だったものである。

16. 「手術(分岐を含む)」の内訳(数値版2-(3)-②参照)



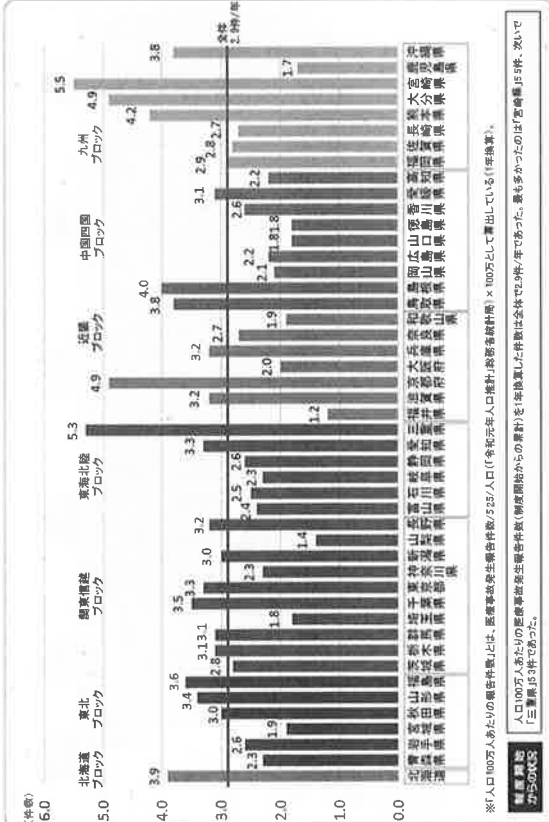
※この集計は、「15.起因した医療(疑いを含む)」の分類別医療事故発生報告件数に即した「手術」のうち、「手術(分岐を含む)」の内訳である。  
 ※手術は、平成20年度調査開始(厚生労働省の「医療安全調査」)における手術名に基づき分類される。  
 ※「その他」には、皮膚科手術、ペーシング器、心臓ペースメーカー、口腔外科手術などが含まれる。  
 「手術(分岐を含む)」の内訳は、医療事故発生報告件数が最も多かったのは「開腹手術」であり、次いで多かったのは「開胸手術」であった。

13. 都道府県別医療事故発生報告件数(数値版2-(1)-①参照)



都道府県別にかつて制限値からの医療事故発生報告件数が最も多かったのは「東京都」240件、次いで「東京都」132件であった。

14. 都道府県別人口100万人あたりの医療事故発生報告件数[1年換算](数値版参考2-(1)-①参照)

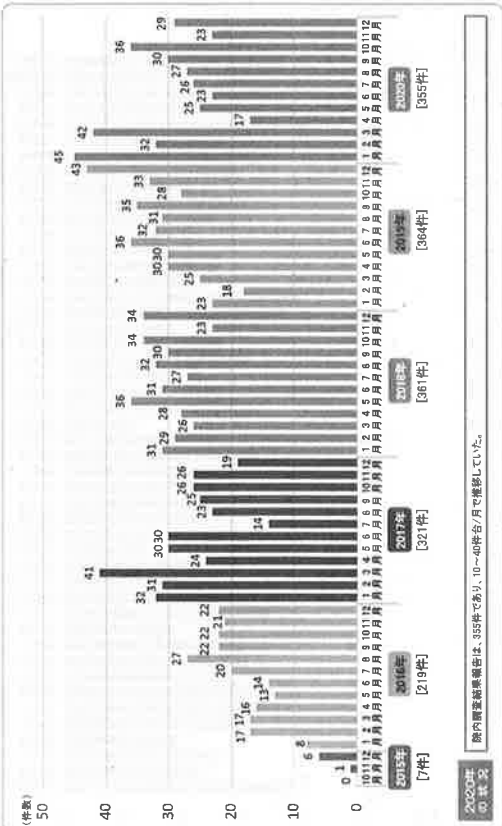


※人口100万人あたりの報告件数とは、医療事故発生報告件数/23/人口(令和元年人口推計)換算値(単位:件数/10万人)として算出している(1年換算)。  
 「人口100万人あたりの医療事故発生報告件数(換算値)」を1年換算した件数は全体では3.9件/年であった。最も多かったのは「東京都」5.3件、次いで「東京都」5.3件であった。



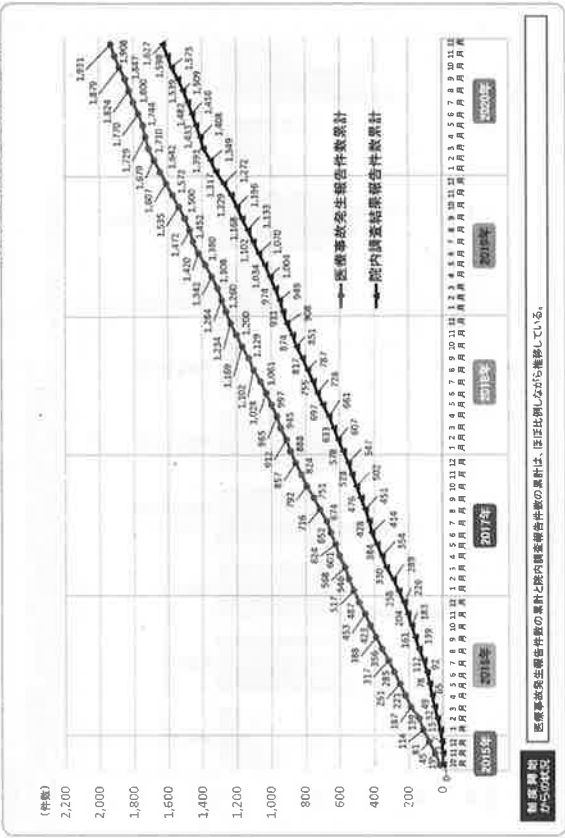
### 院内調査結果報告の状況

17. 院内調査結果報告件数の推移 (数値版 3-(1)-①参照)



### 19. 医療事故発生報告件数および院内調査結果報告件数累計の推移

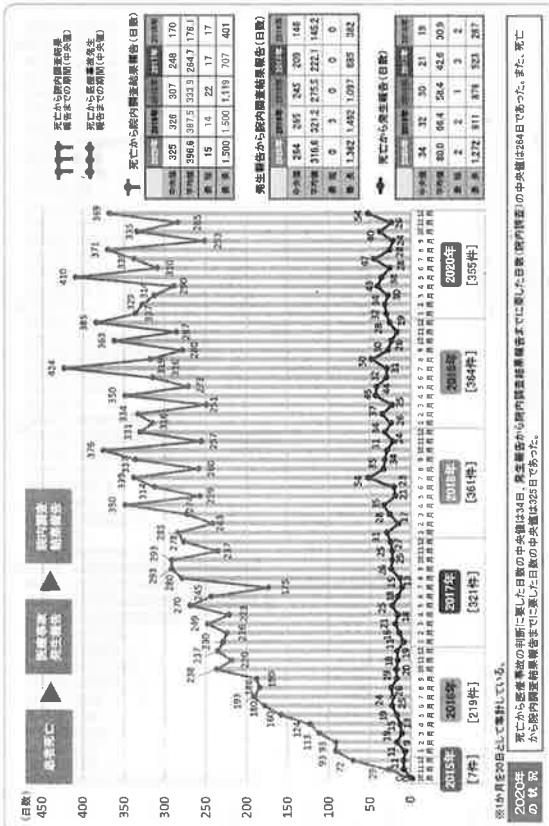
(数値版 2-(1)-①・3-(1)-①参照)



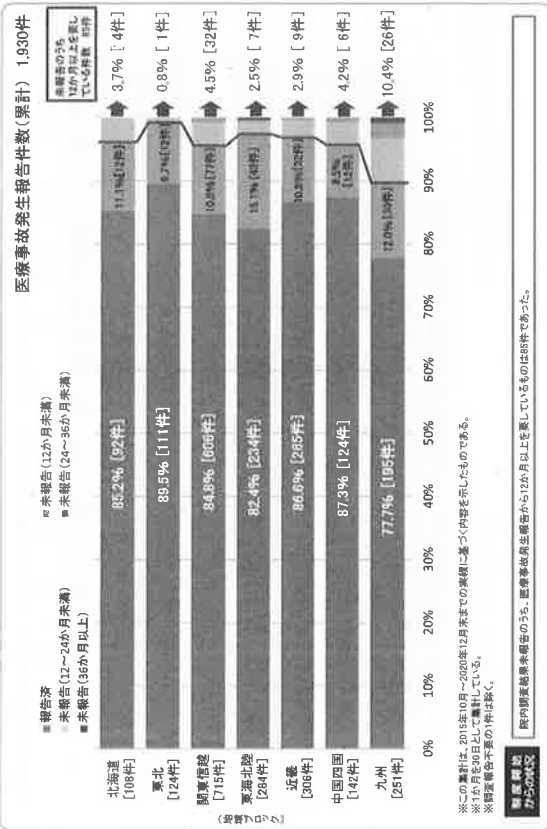
### II 相談・医療事故報告等の現況 要約版

### 18. 患者死亡から医療事故発生報告および院内調査結果報告までの期間(月別)

(数値版 参考 3-(1)-④参照)

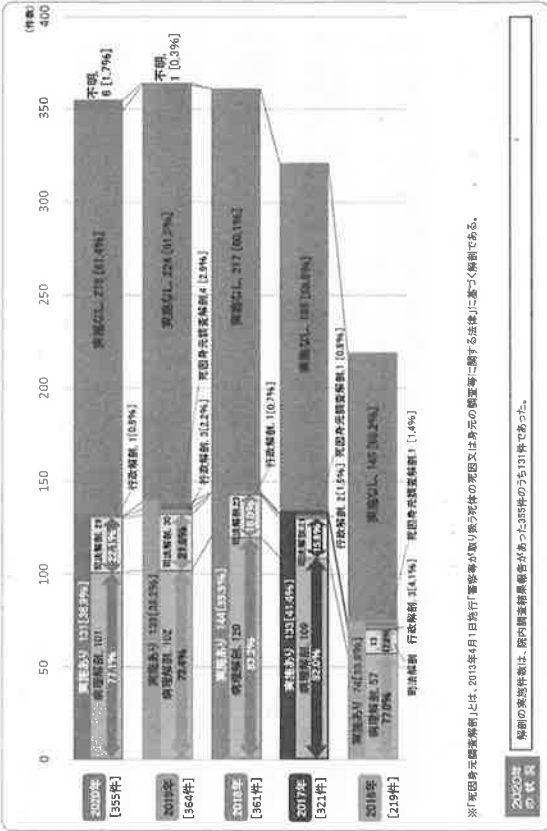


20. 地域ブロック別院内調査結果報告の状況 (数値版参考3-(1)-③参照)



II 相談・医療事故報告等の現状 要約版

22. 解剖の実施状況 (数値版3-(2)-①参照)

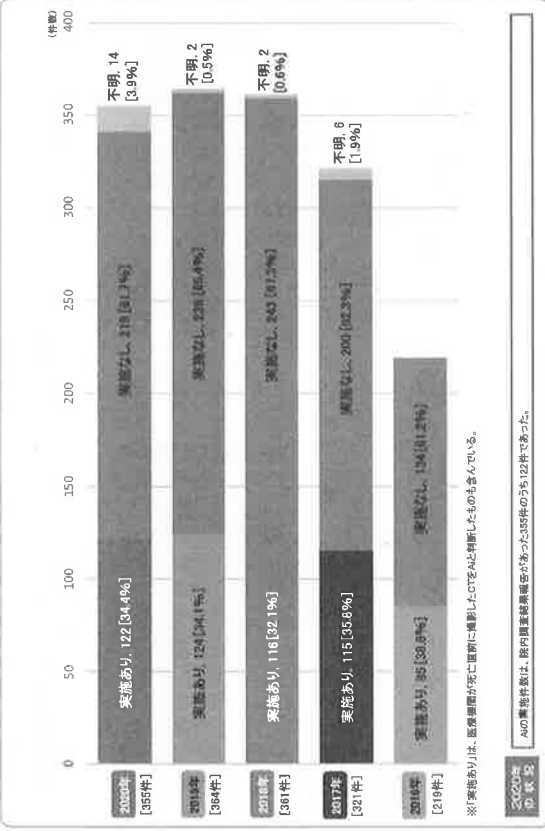


21. 医療事故発生報告から12か月以上調査している(未報告)理由 (数値版参考3-(1)-③参照)

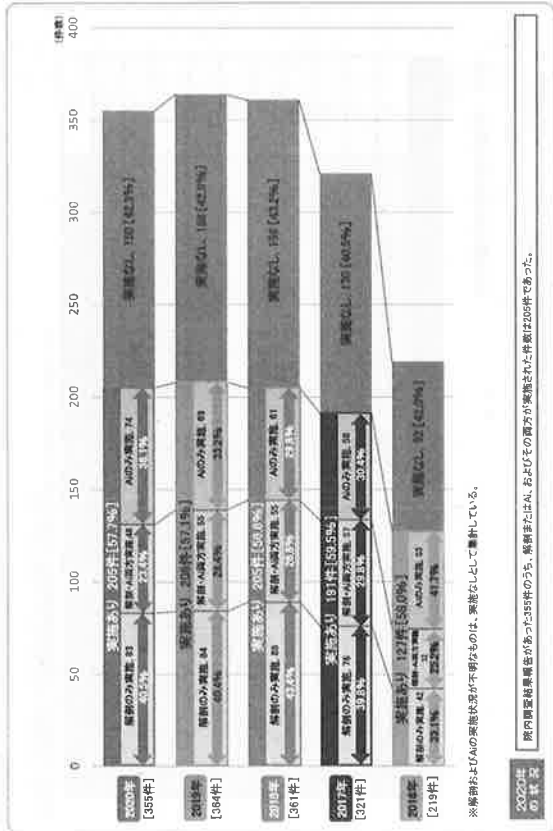
理由	件数
制度の理解不足 (制度がそもそもあることや調査センターへ報告することを知らなかった)	2
解剖結果が出るまでに時間を要している	7
外部委員の派遣までに時間を要している	6
委員会開催のための日程調整に時間を要している	25
調査検討に時間を要している(委員会を複数開催した等)	10
報告書の作成に時間を要している	22
他の業務があり時間を要している(マンパワー不足)	2
遺族への調査結果の説明やその他の対応に時間を要している	18
その他 (上記以外の理由で時間を要している(担当者交代等))	3
特に要因はない	10
<b>合計</b>	<b>105</b>

※2020年12月末時点において、院内調査結果報告のうち12か月以上を要している68件について集計している。  
 ※この集計は、医療機関への調査に基づきセンターが集計したものである。

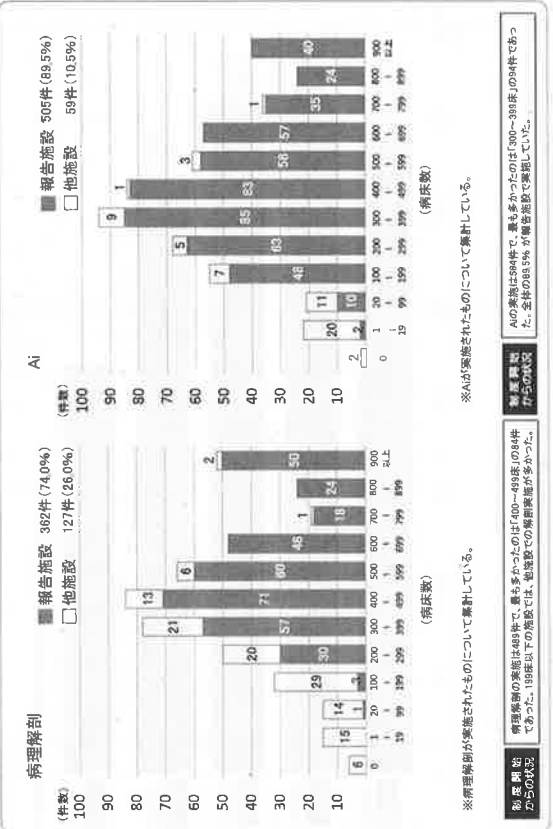
23. 死亡画像診断の実施状況 (数値版3-(2)-②参照)



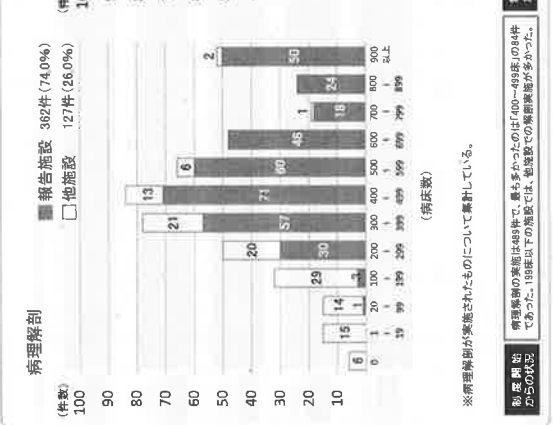
24. 解剖とAiの実施状況の内訳 (数値版 参考3-(2)-③参照)



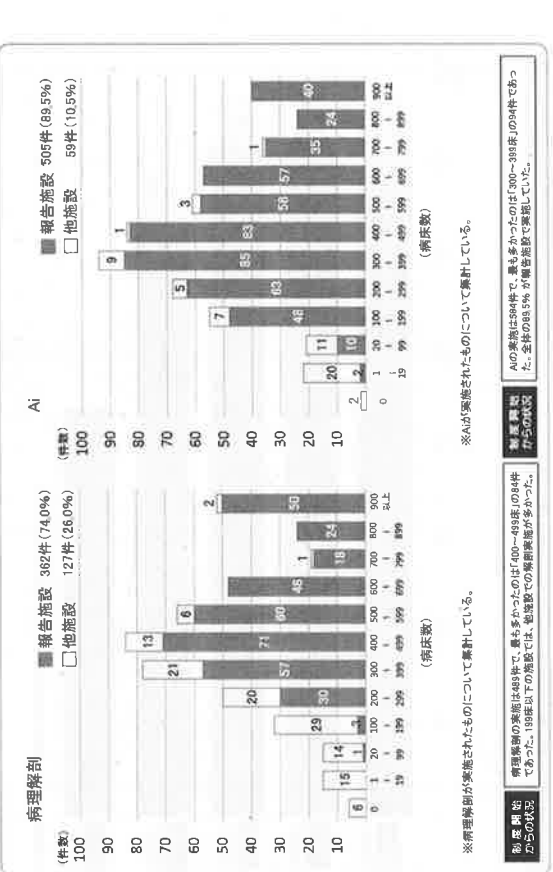
26. 病床規模別病理解剖およびAiの実施件数 (数値版 参考3-(2)-①・参考3-(2)-②参照)



25. 病理解剖の病床規模別割合 (数値版 参考3-(2)-①参照)



27. 院内調査委員会における外部委員の参加状況 (数値版 3-(3)-④参照)





## センター調査の状況

### 30. センター調査対象件数と依頼者の内訳 (数値版 4-(1)-①・②参照)

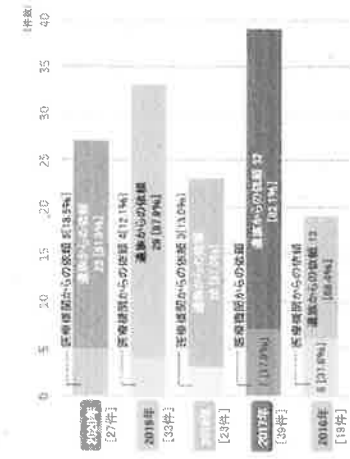
#### センター調査対象件数

依頼調査結果報告件数(累計) 1,627件

センター調査対象件数  
8.7%  
[141件]



#### 依頼者の内訳

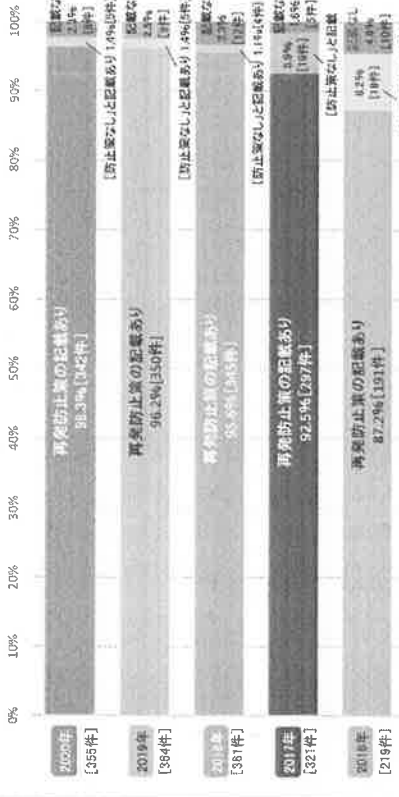


※2018年10月～12月はセンター調査の依頼は0件であった。

依頼調査結果報告件数の累計は2018年12月末であり、センター調査対象となった事例は77件(141件)であった。センター調査の依頼は77件であり、依頼者の内訳は、1医師個人からの依頼108件、1医師からの依頼が2件であった。

## II 相談・医療事故報告等の現況 要約版

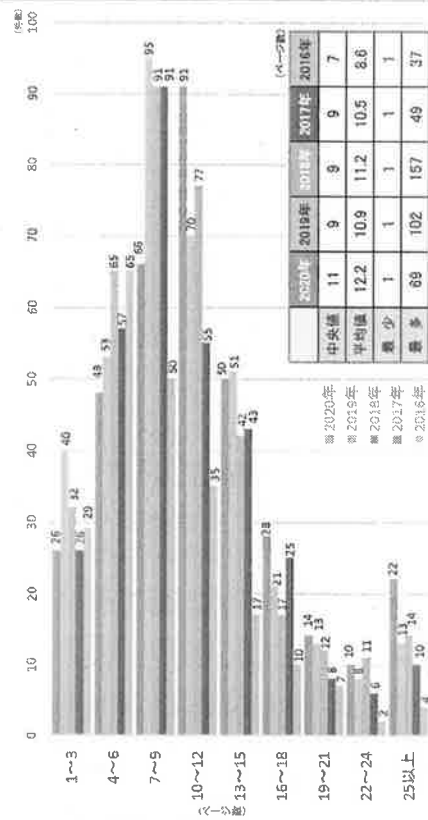
### 28. 再発防止策の記載状況 (数値版 3-(4)-①参照)



※「記載なし」とは、院内調査結果報告書に再発防止策の記載がなかったものである。

依頼調査結果報告書がなかった355件のうち、再発防止策の記載があった事例は202件であり全体の56.9%であった。

### 29. 院内調査結果報告書のページ数 (数値版 3-(6)-①参照)



※院内調査結果報告書のページ数は、頁次、索引資料などを除いたページ数をセンターが集計したものである。

依頼調査結果報告書のページ数は10～12ページが最も多く1件であった。中央値は「12ページ」であり、平均値は「12.2ページ」であった。

### センター調査対象件数(累計) 141件

依頼者	依頼年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	累計
医師個人	可及的早くできない	4	3	1	3	3	14
	院内調査結果の掲載を希望していない	4	3	2	6	4	18
機関	医師個人からの依頼	8	6	3	9	7	33
	医師個人からの依頼	20	17	14	15	2	68
	医師個人からの依頼	21	20	16	18	7	82
	医師個人からの依頼	22	26	17	20	10	95
	医師個人からの依頼	9	9	10	8	3	39
	医師個人からの依頼	11	16	8	8	4	47
	医師個人からの依頼	3	1	2	3	3	12
	医師個人からの依頼	86	89	67	72	29	343
	医師個人からの依頼	0	1	0	1	2	4
	医師個人からの依頼	0	0	4	1	1	6
合計	86	90	71	74	32	353	
合計	94	96	74	83	39	386	

※依頼理由は、センター調査依頼時の情報に基づき、センターが分類・集計したものである。

センター調査対象件数は、医師個人からの依頼108件、医師からの依頼が2件であった。